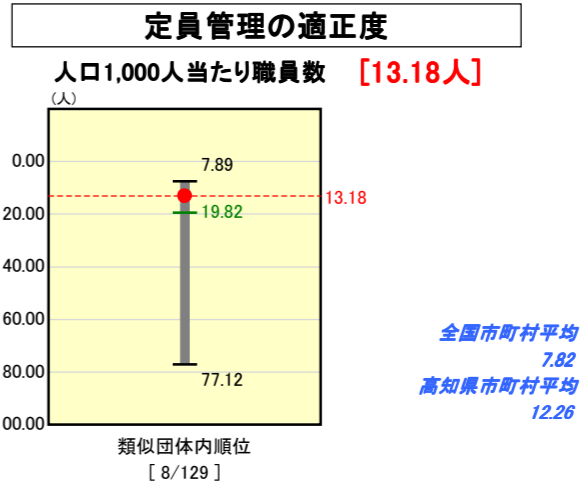
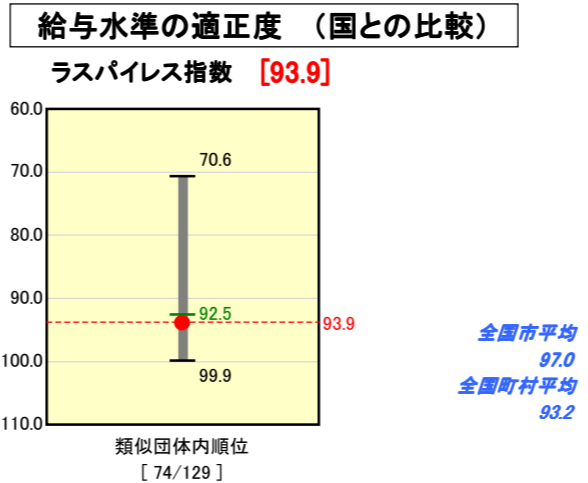
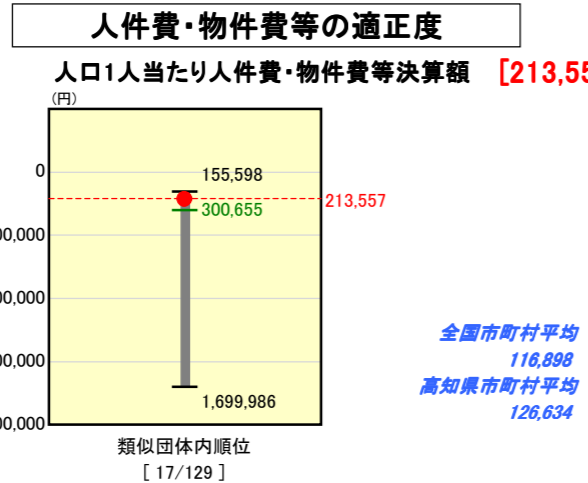
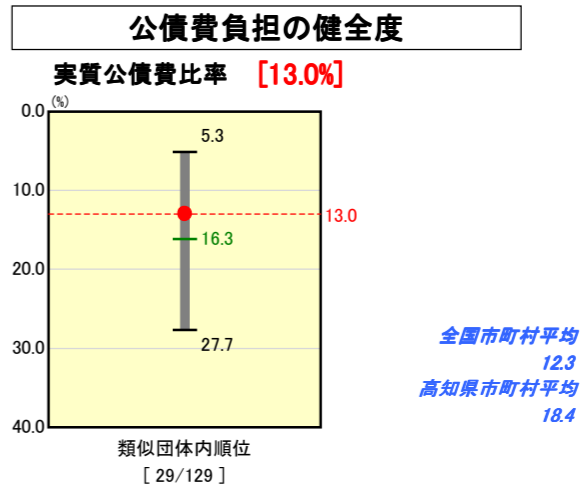
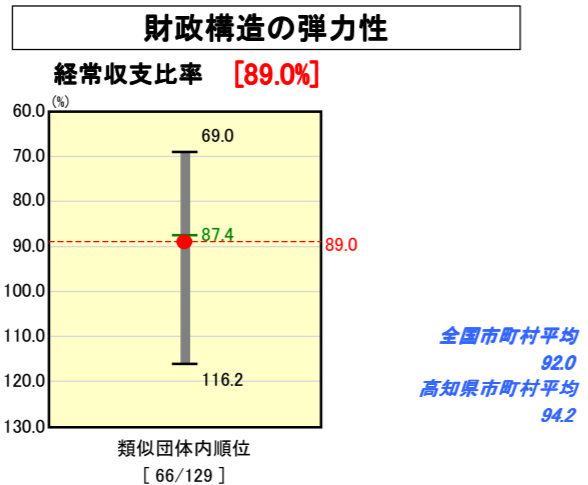
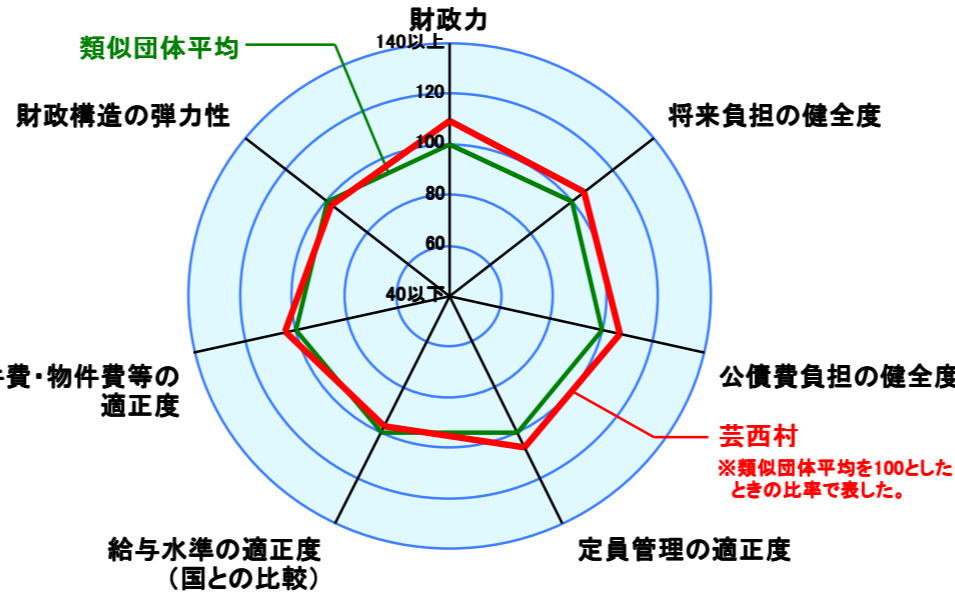
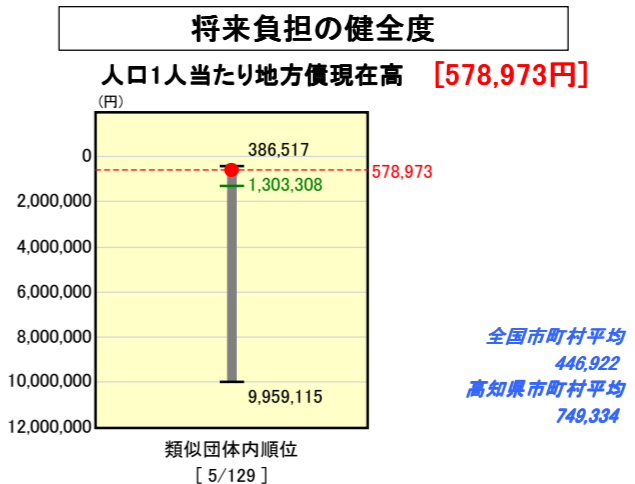
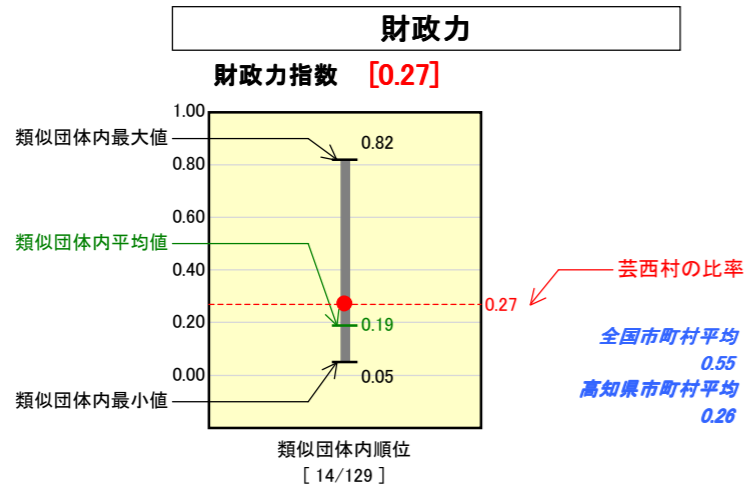


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 高知県 芸西村

|      |           |                 |
|------|-----------|-----------------|
| 人口   | 4,098人    | (H20.3.31現在)    |
| 面積   | 39.63     | km <sup>2</sup> |
| 歳入総額 | 2,404,032 | 千円              |
| 歳出総額 | 2,252,330 | 千円              |
| 実質収支 | 98,268    | 千円              |



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
 ※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
類似団体平均を上回っているが、数値は横這いの状態である。今後も大幅な税収の伸びは見込めないため、歳出の削減を進める一方、地方税の徴収率向上対策を中心に歳入の確保に努める。

**【経常収支比率】**  
経常収支比率は前年よりは1.0%低下したものの前々年よりも1.6%高い数値である。人件費や物件費は行財政改革により減少傾向にあるが、扶助費が大きく増加している。今後は更なる歳出の削減と地方税の徴収強化等の取組みを通じて、類似団体平均を下回る水準を目標に改善に努める。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
類似団体平均より低くなっているのは、退職者の不補充や勤奨退職の実施による人件費の抑制と、ごみ処理の一部事務組合での実施や救急業務の委託などの要因が挙げられる。

**【ラスパイレス指数】**  
給与の抑制措置を行っていないため、類似団体平均、全国町村平均をやや上回る数値となっている。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
近年大規模な事業が少なかったため類似団体平均を下回っているが、下水道事業債を含めると数値がかなり上昇する。今後も新規の発行は、事業内容、償還計画等の検討を十分行い、財政の健全化に努める。

**【実質公債費比率】**  
類似団体平均を下回っているが、下水道事業債の増加に伴い今後上昇する見込みである。実質公債費比率の急激な上昇を抑えるため起債の新規発行には十分な検討を行う。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
類似団体平均を下回っており、今後も適切な定員管理に努める。